

MV - 22オスプレイの厚木基地への飛来について

これまで、オスプレイの安全性については、自治体や住民に対し、丁寧かつ具体的な説明を行うこと、厚木基地が使用されるのであれば、飛行計画や具体的な訓練方法等について、事前に迅速かつ正確に情報提供することなどを強く求めてきたところです。

そのような中、平成26年7月15日及び18日、オスプレイ1機が厚木基地に飛来し、更に、7月31日、防衛省(南関東防衛局)から、8月にも飛来の可能性があるとの連絡がありました。

先月の飛来時の情報提供は十分なものではなく、また、飛来後も地元に対する十分な説明がなされないまま、再度、飛来に関する情報を受けたことは非常に残念であり、国に対し次のことを強く求めます。

- 1 オスプレイについては、未だ多くの住民の不安が払拭されていないことを十分認識し、国の責任において、早急に自治体や住民に対して丁寧かつ具体的な説明を行うこと。
- 2 これまで、自治体や住民が負ってきた基地負担の実情を十分認識し、オスプレイの飛来により、これ以上の負担が生じないように、地元が納得できる対応を行うこと。
- 3 仮にオスプレイが厚木基地に飛来する場合には、国の責任において、記者発表を行い、ホームページに掲載するなど、住民に対し適時適切に情報提供すること。

平成26年8月1日

防衛大臣 小野寺 五 典 殿

神奈川県知事	黒岩 祐治
横浜市市長	林 文子
相模原市長	加山 俊夫
横須賀市長	吉田 雄人
藤沢市長	鈴木 恒夫
茅ヶ崎市長	服部 信明
逗子市長	平井 竜一
大和市市長	大木 哲
海老名市長	内野 優
座間市長	遠藤 三紀夫
綾瀬市長	笠間 城治郎
町田市長	石 阪 丈一